

平成28年3月9日(水)

福島県教育庁高校教育課

理科の問題に以下のような誤りがありましたので、お知らせします。

○出題した **8** の問題文

8 次の実験について、(1)、(2)の問いに答えなさい。

実験1
同じ大きさのまち針A～C、鏡、正三角形がすきまなくかかっている記録用紙を用いて、次の操作を行った。
I 図1のように、記録用紙の上に鏡を垂直に立てた。次に、まち針Aの頭の高さが、まち針Bの頭の高さより低くなるように、まち針A、Bを垂直に刺した。
II 一方の目を閉じたまま、もう一方の目の高さをまち針Aの頭の高さに合わせた。次に、鏡にうつったまち針Aが見えなくなるように、まち針Cを刺した。

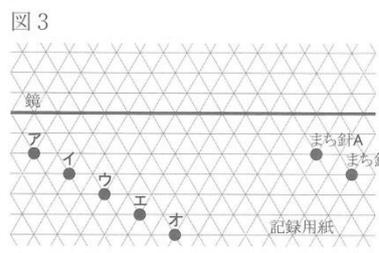
実験2
コイルをコンピュータのマイク端子につなぎ、コイルに生じる電圧のようすを表示できるようにして、次の操作を行った。
I 図2のように、おんさLと磁石をつけたおんさMを向かい合わせにし、おんさMについての磁石にコイルを近づけた。
II おんさLをたたいて鳴らした。

図1

図2

該当箇所

- (1) 図3は、実験1のようすを真上から見たものの一部である。次の①、②の問いに答えなさい。
- ① 図3のア～オの中で、まち針Cを刺した位置はどこか。ア～オの中から1つ選びなさい。
 - ② まち針Cを刺した後、目の高さをまち針Bの頭の高さに合わせた。このとき、まち針Bの頭から進んできた光が、鏡で反射して目にとどく。この光の反射角は何度か。求めなさい。



該当設問

○ 問題の説明文の誤り

正	誤
まち針 <u>A</u> 、 <u>B</u> が見えなくなるように	まち針 <u>A</u> が見えなくなるように

○ 対応

このことにより、問題8の(1)①及び②については、受験生全員を正解とします。大変申し訳なくお詫び申し上げます。